

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
 ■会長/山本 郁矢 ■幹事/入谷 直行 ■会報・雑誌・広報委員長/細井 俊男
 ■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
 2011-2012年度 RI 会長 カルヤン・パネルジー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

第975回

2011年10月25日(火) 晴 第16回

～職業奉仕・米山月間～

斉唱 手に手つないで
 出席 会員61名(出席率算入人数56名)
 出席51名 出席率91.07%
 前々回補填率100%(10月11日分)

会長あいさつ

会長 山本 郁矢さん

皆様、こんばんは。

先週は会員の加藤さんの工場を訪問させていただきました。加藤さんには色々とお世話になり、ありがとうございました。また、職業奉仕委員長の久米さんには、色々準備に携わっていただきありがとうございました。



さて、いよいよ地区大会が11月19日・20日です。その時に、我々クラブも表彰される事になりました。RI会員増強拡大賞という部門の維持賞をいただく事になりました。退会者ゼロという事で、これは報告が去年の7月から今年の5月までですが、それまでは退会者がゼロでした。82クラブある中で、16クラブがこの対象になっております。ちなみに会員増強拡大賞の中では、全般的な増加で名東RC、勧誘で名東RC、維持で16クラブが表彰されます。

以上報告させていただき、あいさつに代えさせていただきます。

幹事報告

幹事 入谷 直行さん

1. 出席袋に、中部名古屋みらいRCが3周年を迎えられ、環境講演会を開催されるという事でご案内が入っております。書面には、各クラブで出席者を取りまとめると記載されておりますが、名南RCはクラブでの取りまとめは致しません。関心のある方は、個々でこのHPから出席をエントリーして下さい。
2. 東日本大震災義援金に対するお願いで、ガバナー事務所から1人5,000円以上という事で依頼が来しております。強制に近いお願いですが、当クラブでは理事会で相談しました結果、クラブでの取りまとめは致しません。個々の自由意志で義援金をお

出しいただく事しております。

ニコボックス

- ◆ 本日は卓話です。“鉄の芸術—日本刀—”を紹介させていただきます。 小山 慎介さん
- ◆ 小山慎介さん、鈴木清詞さんの卓話を楽しみにしています。

林 隆二さん 新原 尚さん 小野 雅之さん
 白銀 義昭さん 江上 隆夫さん 山本 誠一さん
 野々村憲吾さん 安藤 修さん 牧野 好弘さん
 白藤 憲雄さん 川村 繁生さん 宮本 浩史さん
 榊原 和美さん 中村 勝さん 武藤 正行さん
 本多 利郎さん 入谷 直行さん 久米 伸治さん
 木村 猛さん 杉本 勇さん 坂本 晃さん
 吉木 邦男さん 猪村 美之さん 鈴木 清詞さん
 杉山 隆秀さん 宮崎 良一さん 黒田 康正さん
 鈴木 一博さん 加藤 英敏さん 浅井 浩さん
 伊藤 圭一さん 太田 敦士さん 山本 郁矢さん
 川瀬 悟さん 坂田 信子さん 田中 省三さん
 三浦 和人さん 川辺 清次さん 児島 徳和さん
 出田真太郎さん 細井 俊男さん 長尾 浅吉さん
 東山 直史さん 三島多恵子さん 森田敏二三さん
 中西 芳子さん 伊藤 博昭さん

本日合計 49,000円 累計 559,000円

委員会報告

- ロータリー財団委員会 委員長 東山 直史さん
 11月は財団月間です。毎年恒例のロータリー財団の寄付のお願いの時期ですので、皆様方の温かいご支援をお願いしたいと思います。100ドル以上で1万円以上の浄財をお願いしたいと思います。今回のレートが78円ですので、大体128ドルになります。また、来月11月1日に地区のロータリー財団委員長に卓話をしていただきます。その節、詳しく説明がありますのでよろしくお願いいたします。

同好会報告

- 英会話同好会 浅井 浩さん
 英会話の開催が来週に迫りました。11月1日3時半～5時です。封筒の中に会場案内を入れております。併せて会場をキープする為に、写真同好会にもお願いをしまして、2時半～3時半ご協力いただきます。

また、写真同好会も5~6名の方がやっても良いというお話をいただいております。人数的には15名は楽に入る会場でございますので、英会話も写真もまだゆとりがございます。皆様、是非奮って参加をお願いしたいと思います。

アンチエイジングエクササイズ

■環境保全・保健問題委員会

委員長 中村 勝さん

今日は、やはり歳を取ると頭の方がボケるという事で、一番最初は頭の体操をします。次は、足が弱ってくるという事で、足を鍛える体操をやりたいと思います。

会 員 卓 話

■鈴木清詞さん

私は仕事として鉄の2次加工、3次加工をしております。その関係から鉄の状況をお話したいと思います。

世界の粗鋼生産量は、約11億3,000万トです。その中で日本が約1億ト~1億2,000万トです。それ以外の国は、アメリカで約1億ト、ヨーロッパで約2億ト、インド・韓国合わせて約1億トです。2000年当時は、約6億3,000万トの鉄の需要でした。2000年から2011年に至る間に、中国が1億3,000万トから、今6億3,000万トの鉄を作っており、世界の半分以上の鉄は中国で生産されているのが現状です。この10年で鉄鋼事情というのは、大きく変動しました。

中国の発展により、鉄鋼価格も大きく変わってきております。まず、中国の約5億トの鉄鋼生産の増加によって、原材料の鉄鉱石や原料炭が急に不足しました。鉄鉱石は、2000年当時、1ト当たり18ドルでしたが、今137ドルで、10年間で約7倍に上がっています。また、原料炭は2000年当時、40ドルでしたが、今220~240ドルで、約5.5~5.6倍の値段になっております。これは一重に中国での生産が伸びたからです。何故かと言うと、鉄鋼石は世界で大手3社で約6割の非常に寡占化された市場であります。限られた鉄鋼石を世界で取り合うという状況の中で、中国の需要が増え、運ぶ船のフレートの問題もありますし、鉄鋼石自身の問題もあります。原料炭も同じように急激に不足しました。まだ更に来年はここから1割~2割上がりそうな状況です。

そんな状況の中で、鋼材価格はどうかというところ、鉄は水より安いです。鉄にも色々な種類がありますので一概に幾らとは言えないのですが、大雑把に言いますと、2000年当時、約5万円だった鉄が、今10万円に倍になっています。1kg40円という事で、高くなったと言っても水レベルの値段です。

あと、鉄の価格に影響するものに、スクラップ価格があります。1度使われた鉄がスクラップになって再利用という事になる訳です。今1ト約1万5,000円です。これが2~3年前のピーク時には4万円まで行きました。今ですと約2万2,000円です。そういった関係で、我々の業界では非常に問題が起きております。それは、スクラップから作る鉄と、鉄鉱石か

ら作る鉄の値段が大きく変わってきた事です。1万円近く差が出てきています。製品になると同じ鉄ですが、高炉メーカーで作ると、電炉メーカーで作るので1万円の差が出ます。高炉メーカーは、鉄鋼石や原料炭を使ってやっているので、先程申しました通り上げざるを得ません。ところが、一時4万円まで行ったスクラップが2万2,000円まで下がってしまい、スクラップが高くなった事を理由に電炉メーカーも値上げをしておりましたが、ここで大きく差が付いてしまいました。

そういった中で、高炉メーカーの世界との競争力がどんどん無くなって来ました。鉄鋼メーカーというのは、過去においては、川鉄や日本鋼管というメーカーがありましたが、これらは統合してJFEという1つのメーカーになりました。また、新日鉄と住友金属が来年1つになり新日鉄住金になります。過去6社あったものが、JFEと新日鉄住金と神戸製鋼の3社になっていくという事です。大手が全て統合して世界的な競争力を付けていかないと、もう世界とは戦っていけないという状況まで追い込まれているのが、今の日本の鉄鋼状況です。

日本で作られている鋼材は、年間約1億1,000万ト~1億2,000万トです。月に1,000万ト作られると非常に好景気だと言われており、今はそこそこと言った状況です。この約1億1,000万トの1割が海外輸出されています。これも10年前と比較すると、使われ方が随分変わってきています。10年前は、製造業で使われる鉄と、建設業で使われる鉄は50%づつでイコールの状況でした。今は、建設業で使われる鉄は38%で、残りの62%は製造業で使われています。これはいかに公共投資が減ったかと言いますか、建設業が苦しいかと言いますか、そういった事もこういう事から分かるかと思えます。

鉄は究極のリサイクル品です。何度でも使えるという事が鉄の特徴です。鉄の硬さ・強さは炭素の量で決定されます。炭素を入れる事により非常に硬くなり、逆にそれを除くことによって軟らかくなります。電炉メーカーが鉄屑を調整して再生する時に炭素を入れれば硬くなり、そこに酸素を吹き込めば、中に入っている炭素がCO₂のガスとなって抜けて軟らかくなります。元々の鉄は非常に炭素が多く、铸件と言われ、硬くて落とすと割れます。そこから鍛錬をして、且つ炭素を抜いて鋼にします。カーボン量が半分以下になってくると鋼と呼ばれます。普段、機械部品や自動車部品で使われている特殊鋼と言われる鉄は、カーボン量が50%以下になります。

そのような事で、鉄について少し知識を入れていただければと思います。ありがとうございました。

■小山慎介さん

今鈴木さんからは鉄のお話、私の方も鉄の日本刀についてお話をさせていただきます。

日本刀というのは、鉄の芸術と言われております。例えばイギリスの大英博物館、フランスのルーブル美術館、日本の東京博物館等で、武器として作られた甲冑・兜・刀・拵が、世界では東洋の美として、唯一美術品、工芸美術として扱われています。他所のサーベ



ル・甲冑は武器として展示されております。

今日は、皆様によく目してお見えになります
が、本当の意味での日本刀とはどういう物かという
事をお話させていただきます。

これは拵と申しまし
て、この中に刀が入っ
ております。こういった
刀から日本の伝統工
芸が伝承されているお
話をさせていただきます。



これは足利尊氏の戦
です。奈良時代から室
町時代の刀、こういった
戦の時には、必ずこ
のように腰に這う、こ
れを古刀と言います。
約800年代室町の終わ
りまで古刀が続きます。
このようになかなか大
きな物を腰に差し、肩
に担いで「我こそは、
足利尊氏である」と
戦をしておりました。
安土桃山、織田信長の
時代になりますと、
鉄砲が伝来したので
馬の上から「我こそは」
とやっていると標的
にされるので、戦の
戦い方が変わります。
桃山時代から江戸期
に入りますと、古刀
から刀という物に
変わってきます。



刀の刃が下に付いて
いるものを古刀と言
います。こういった物
を博物館で見たら、
古い物だと思って下
さい。奈良朝から室
町までの方が使った
物です。



こちらはほとんどま
っすぐで、刃が上に
あります。これは打
刀拵、という事はも
う鉄砲の時代が始
まっていますので、
大きな刀はいりませ
ん。これは大体2尺
5寸で約85~90cm
、こちらは2尺3寸
で約70cmで、短い
物を腰に差して切り
下ろすというように
、戦い方が変わった
ので姿も変わりました。
江戸から明治1867
年までの物を新刀と
言います。

このように今度は全
部刃が上に向いてい
ます。このようなもの
は脇差、大小を江戸
時代には付けるよう
になりました。大刀
は2尺3寸約70cm
、脇差は1尺~2尺
約50cm~55、56
cmくらいです。

こちらは非常に綺麗
な刻拵ですが、これ
は古刀期の刀を磨り
下ろして、莖にし
ます。そうすると刀
になります。これが
刀の鑑賞で非常に難
しく、古刀期の物か
江戸期の物かは色々
見てみないと、皆様
ではなかなか理解
できません。江戸期
には、戦争も無くな
り刀鍛冶も衰退して
くる中で、古刀を磨
り上げて刀にします。
これは呂鞘、本当の
漆工芸。これはお城
に上がる時の差料
です。普段は普段用
の物です。これはロ
ウジュウ。浅野内匠
頭が切りつけたのも
この様な物です。こ
ちらは脇差。このサ
ギョウはこの様に丸
めてあります。こう
いった結び目のある
物はロウジンザシと
言ひまして休めてい
る。いざ戦いになっ
たときにこれをほど
いて纏にします。そ
し



てこれが現在女性の
皆様の帯締めです。
帯は拵を包む為の袋
で、帯は江戸時代か
ら締めるようになって
きました。西陣織の
非常に高価な刀を包
む物から、馬に乗
ったり、戦で走る時
に、刀が落ちないよ
うに腰へ縛るとい
う意味をなしてい
ます。そして、いざ
戦いの際には纏に
なります。

これはオオスリアゲ
の刀で、非常に良い
刀で、室町時代の義
昭の拵で国宝です。
これは金蒔絵の非常
に良い金梨地で作
った刀拵です。こ
のような所に龍の
彫り物があります。



これが装剣具、こ
ういった鐔、そし
て小柄筭。



そしてこのように
素晴らしい、よく見
るとここに細かい獅
子の彫り物があり
まして、こういった
縁、頭、目貫。目貫
というのは刀の柄の
部分にはめます。私
達の手はここに窪み
があります。ここを
目貫と言い、持った
時に非常にピタッと
止まる。これが目貫
。そして「目抜き通
り」真ん中です。「
鞘に収める」「鑢迫
り合い」「鑢を削る
」という言葉も刀か
らきています。

これは僅か1cm位の
幅、これが8cm位の
躍動感。いかにも馬
が今から走るよう
です。こういった彫金
が世界でも有数の
芸術なのです。これ
が日本刀の美となり
、美術品となります
。これは小柄と言
ひまして、この先に
刀があります。柿の
実を切ったりペー
パーナイフとして使
っていました。



これは大小拵で、正
式に登城用の刀です
。全く綺麗な漆の呂
鞘。縁、頭これがツ
ノで出来ております
。そしてこれが殿中
に上がる時の差料
、日本差です。



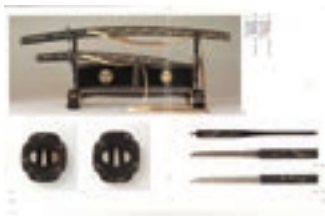
これがその時ここ
にはまっているもの
です。これは小柄
です。これは筭と言
って、かんざしの事
です。これは耳かき
です。そしてこれは
お風呂に入る時に
鬘が付かないよう
に、かなりの高級武
士になりますと小
柄筭をはめます。そ
ういったものを差料
しています。

これが貝殻をまぶし
て散りばめた物
です。これは普段の
高級武士の使う物
。漆を掛けて織り上
げました。そしてこ
のようなツバです
。これも同じく小柄
筭が付いています。



これは徳川の物
ですが、織物です。
錦糸を綺麗に巻
いてあり、これが
西陣なんかの元
になっていま

す。そしてこういった小柄筭の目貫、こういった鑢が付いて、葵の門の漆、こういった工芸が現在の漆工芸です。そして帯、そして彫金技術です。世界的にもこれだけの彫金技術ができるのはやはり日本なんです。



そういった所をご理解いただき、刃が下で飾ってある物が太刀。刃が上で飾ってある物が打刀と理解して、これから美術館を見てもらうと大変興味も沸いておもしろく見ていただけたと思います。

第977回例会 (11月8日) のご案内

会員卓話 吉木 邦男さん
例会場変更 於：16F アゼリア